

本書の使用方法

本書の構成は、シンポジウム・特集テーマ一覧、「総目次」、「件名索引」および「著者索引」よりなり、それらは次のような方針で編集されております。

1. 収録範囲は、雑誌「臨床整形外科」第18巻第1号(1983年1月)より第34巻第12号(1999年12月)にわたり、その全発行号に掲載された有署名の全論文、全記事のタイトルを収載しました。但し、シンポジウム・特集テーマについては創刊第1号まで遡り全てのテーマを一覧で掲載しました。創刊第1巻1号(1966年4月)より第17巻第12号(1982年12月)までの内容については、第18巻第7号臨時増刊総索引号(1983年)をご参照ください。
2. ページ数の節約のため、欄名につきましては以下のような略称を用いました。「件名索引」「著者索引」をご利用の際にご参照ください。()内が正式な欄名です。

巻(巻頭言)、視(視座)、論(論述)、経(臨床経験)、特(特集)、企(特別企画)、シ(シンポジウム)、検(検査法)、術(手術手技〈私のくふう〉、手術手技〈最近の進歩〉)、具(装具、器械)、境(境界領域)、調(調査報告)、基(整形外科基礎)、知(整形外科／知ってるつもり、最新基礎科学／知っておきたい)、認(認定医講座)、談(座談会・鼎談・対談)、討(症例検討会、討論)、悼(追悼)、史(整形外科を育てた人達)、哲(整形外科 philosophy)、記(ついで歩き記)、印(海外見聞記、印象記)、諸(ニュース、トピックス、Letter、他)、他。

注(1)欄の数が創刊以来40余に上るため、それらの欄名のすべてに略称を用いることは却って煩雑になりますので、性格を同じくすると考えられる欄を同一の略称にまとめてあります。

注(2)編集の都合上で欄名を変更したものがありますが、同じ略称にまとめてあります。

3. その他、使用法の詳細につきましては、それぞれの凡例をご覧ください。

件名索引凡例：165 頁

著者索引凡例：315 頁

本索引号の記載に誤りがありました場合は、ご面倒ながら編集室までお知らせください。次回編集の参考にさせていただきます。

「臨床整形外科」編集室